



出発してすぐ、大きなトチノキに花を発見。登山口の神社でも、モリアオガエルの卵やヤスデも観察。登山道は林業の方が使われているものなので、足元に気をつけながらも、新緑の森林を楽しむ。トチノキの花の時期は終わっていたが、他の数種類の白い小さな花が咲いていたり、幼木を観察したりできた。印象的なのは、色素を持たない花、乳白色のはかなげな様子に驚いた。



11:30トチノキ巨木林に到着。実物を見ながら、説明を聞いた。この時期には実を観察できないので、保存されてものを見せていただいた。見渡すと、周りはトチノキが多くあり、大切な木で、土地の方が守ってきたことが伝わってくるようだった。

説明後、昼食&休憩。森林の香りを感じながらの食事は最高。トチノキに登って食べたり、遊んだり、時には朽ちたトチノキの穴にもぐったり（落ちた!?）、楽しいひと時を過ごした





13:00記念撮影後、下山。往きの急登は通らず、緩やかな別ルートで下山。このルートでも色素を持たない花—ギンリョウソウをたくさん観察できた。

14:00無事下山。お楽しみの焼きたて栃もちを頂いた。栃のはちみつ、きなこ、あんこ、それぞれ好みの味付けで大満足！



15:00解散。ケガやヒルの被害もなく、無事終了。

